

北方領土隣接地域における地域一体となった 啓発促進策の検討に関する有識者会議(第3回)

現地視察報告

実施概要

■実施日

令和7年7月14日(月)

■参加者

北方領土隣接地域における地域一体となった啓発促進策の検討に関する有識者
有識者会議 構成員(矢ヶ崎座長、佐々木構成員、本間構成員、渡邊構成員)

※同行:(独)北方領土問題対策協会、内閣府

■訪問先

【矢ヶ崎座長、佐々木構成員、本間構成員】

- ・標津町ポ一川史跡自然公園
- ・伝成館(旧北海道農事試験場根室支場庁舎)
- ・中標津町役場

【渡邊構成員】

- ・羅臼国後展望塔
- ・別海北方展望塔
- ・納沙布岬(北方領土視察)
- ・北方館・望郷の家
- ・根室市北方領土資料館
- ・北海道立北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)

■ 施設の概要(1997年オープン)

- ・ 国指定史跡「伊茶仁（いちゃに）カリカリウス遺跡」、国指定天然記念物・標津湿原、開拓の村と歴史民俗資料館の3エリアで構成された北海道最大級の野外博物館。
- ・ 雄大な自然の中に竖穴住居跡が無数に残る遺跡の光景を見ると、この地に暮らした人々の息吹を感じることができる。

出典：標津町役場 (<https://www.shibetsutown.jp/>)

ポー川史跡自然公園「日本遺産「鮭の聖地」の物語 まちめぐりマップ
～標津町～」

■ 説明の概要

- ・ 縄文時代から近世までの土器など出土品を通して継続的居住の歴史を展示。
- ・ サケ漁・交易ネットワークなど定住の背景を出土資料で解説。
- ・ オホーツク文化や「クナシリ・メナシの戦い」等、北方文化の多層的な紹介。

■ 所感

- ・ 環境・動物・文化を統合的に扱う展示は、多様な学びの機会となっている。



▲縄文時代から近世までの土器を前に、標津における人類居住の歴史について説明を受ける様子



▲「標準番屋屏風」の前にて、江戸時代の標津や会津藩と標津の関係について説明を受ける様子



▲標津遺跡群の分布図を前に、竖穴式住居跡の数や分布状況などについて説明を受ける様子



▲屋外に設置された電信ケーブル復元展示の内部で見学する様子



▲標津町で出土した縄文時代の土器



▲会津藩により当時の標津の様子が描かれた「標準番屋屏風」



▲館内のパネルにて、オホーツク文化について説明を受ける様子



▲復元展示の前にて、国後島付近でのロシア船と日本漁船の緊張関係などについて共有を受ける様子

■ 施設の概要(1927年設立)

- ・ 種苗倉庫の東南方に東面して建つ。
- ・ 南北26m東西9.0mの鉄筋コンクリート造2階建て、中央に塔屋を上げ玄関を張り出し、左右対称に縦長上下窓を配する。
- ・ 北海道第二期拓殖計画の一環として実施された根釧原野の開拓事業を象徴する建築物の一つ。

出典：文化庁 文化遺産オンライン(<https://bunka.nii.ac.jp/>)

■ 説明の概要

- ・ 初代場長松野傳により、乳製品流通や植栽設計など酪農振興と景観形成が推進。
- ・ 基線道路上の立地やリンドバーグ通過の逸話から、地政学的価値と北方領土問題に通じる視点を提示。
- ・ 防風林模型や紙芝居展示を通じ、子ども向けに環境教育と地域史継承を実施。

■ 所感

- ・ 領土・交通・農業を結ぶ多面的な歴史的価値が凝縮された施設。
- ・ 景観形成や教育への配慮も評価でき、地域文化の核としての役割を果たしている。



▲入り口にて、施設の概要や立地条件等について説明を受ける様子



▲2回議長室にて、中標津町の魅力や地元住民との連携について共有を受ける様子



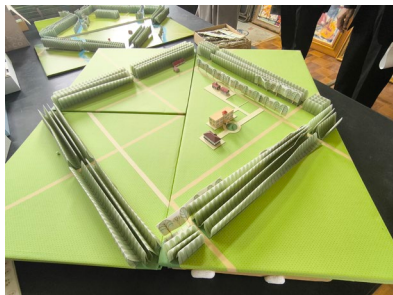
▲2回会議室にて、窓から見える種苗倉庫・農具庫を確認する様子



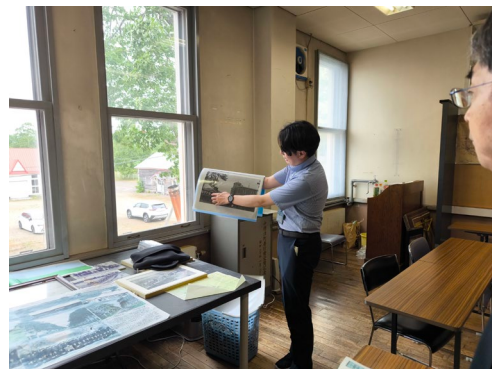
▲1階に展示された敷地内の模型前にて、防風林の役割や模型を使った教育的取組みについて説明を受ける様子



▲2階会議室に展示された写真資料



▲1階に展示された、敷地内の建物と防風林の配置を再現した模型



▲2階会議室にて、設立当時の写真と見比べながら施設の設計について説明をする村田係長



▲屋外の白樺並木前にて、「しるべつなぎ構想」の取り組み状況や所感の共有を受ける様子

中標津町役場展望室

【矢ヶ崎座長、佐々木構成員、本間構成員】

■ 施設の概要(1981年展示開設)

- ・ 昭和56年から、中標津町役場展望室に北方領土実況真景模型、写真パネル、四島交流で頂いた記念品等、北方領土関連資料を展示している。

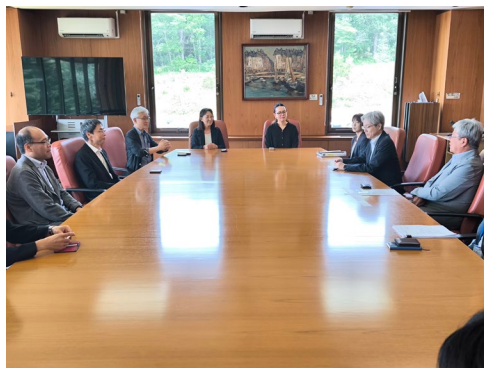
出典：中標津町役場(<https://www.nakashibetsu.jp/>)

■ 説明の概要

- ・ 中標津町役場前には雪印メグミルク株式会社なかしべつ工場があり、展望室から望むことができる。
- ・ 中標津の森林にはカラマツやアカエゾマツなどの針葉樹が多く植林され、主に建築材や土木資材として利用されている。
- ・ 展望塔では「エリカちゃん」などのイメージキャラクター撮影用パネルやSNSアカウント情報を見ることができる。

■ 所感

- ・ 歴史的資料と現代的な情報発信を融合した取り組みが印象的。



▲会議室にて副町長への表敬を行い、若い世代への北方領土問題の継承等について説明を受ける様子



▲展望室に設置された北方四島交流事業の写真を見学する様子



▲展望室に設置された北方四島のジオラマを見学する様子



▲マスコットキャラクターを起用したSNS発信の取り組みについて説明を受ける様子



▲展望室に展示されたロシアの記念品



▲北方四島との交流事業で撮影された写真



▲展望室に設置された、北方領土の歴史を説明するパネルを見学する様子



▲展望室に展示された、北方領土問題についてマスコットキャラクターのイラストを交えながら説明するパネル

■ 羅臼国後展望塔



■ 北方館・望郷の家



■ 別海北方展望塔



■ 北海道立北方四島交流センター(二・ホ・ロ)

